

フロンティア事業助成事業 実績報告

団体名	NPO法人 C・キッズ・ネットワーク	代表者名	理事長 大森 節子
事業名	消費者市民社会推進のための啓発事業		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2013年11月3日	「4. 消費者啓発出前講座あるいは開催型講座、イベントでのミニ講座の実施」事業 「ふれあいの祭典」はばタン消費者ネット（生活科学総合センター）PRコーナーに於いて、すごろくによる消費者啓発を実施 参加者：（食）おやつすごろく 115名、 （契約）悪質業者にまけんぞ！すごろく 27名、 （金銭）カイトローすごろく 14名、 （環境）省エネすごろく 6名
2013年11月23日	「4. 消費者啓発出前講座あるいは開催型講座、イベントでのミニ講座の実施」事業 開催型講座「子どもと楽しむ消費者教育」の実施 参加者：第一部講演会 参加者 52名、 第二部講座 参加者 26名 見学者 38名、 第三部お祭りコーナー延べ人数 57名
2014年2月3日	「4. 消費者啓発出前講座あるいは開催型講座、イベントでのミニ講座の実施」事業 神戸東洋日本語学校出前講座 参加者：初級/初中級「コンビニ食ってどんな食？」28名 中級/中上級「パワーアップ朝ごはん」21名 上級「インターネットとケータイの落とし穴」29名
2014年2月12日	「5. 今後の提言とする成果の研究発表」事業 地方消費者フォーラム参加発表 ・壁新聞交流会 参加 ・壁新聞リレー紹介 発表 ・第1分科会「広げよう連携の輪！～NPO と行政の連携～」 ※当会との連携について湖南省消費生活センターと東播磨消費生活センターが発表 ・全体会にて第1分科会内容を報告

効果と成果

この事業を実施したことにより、対象者に合わせた目的別の消費者教育の講座が5講座実施でき、また教材が3教材誕生したことで、各イベントや講座で一般市民や知的障がい者などに対して、金銭・食・環境など分かりやすい消費者教育を提供することができた。

また、開催型の講座では、日頃消費者教育に触れる機会の少ない子育て世代が、楽しく消費者教育を知ることができた。また、教育関係者や行政担当者に消費者教育の進め方の提案ができたことは当団体の大きな成果だといえる。

今後はこの実績をもとに、行政や教育関係者及び一般市民へ楽しく分かりやすい対象者分野別の消費者教育を提案し、消費者が個人の利益だけでなく、社会全体の利益を考えて発言行動できる消費者市民社会をより推進していきたい。

収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
フロンティア事業助成金	800,000
自己資金	88,139
合 計	888,139

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直 接 経 費	1. 消費者啓発プログラムの改良開発	174,900	174,900
	2. 消費者啓発教材の改良開発	35,800	35,800
	3. 消費者教育の必要性の普及活動	108,498	108,498
	4. 消費者啓発出前講座、開催型講座、イベントでのミニ講座の実施	374,678	374,678
	5. 今後の提言とする成果の研究発表・報告書作成	110,605	110,605
	小 計	804,481	804,481
	間接経費 (一般管理費)	83,658	83,658
	合 計	888,139	888,139